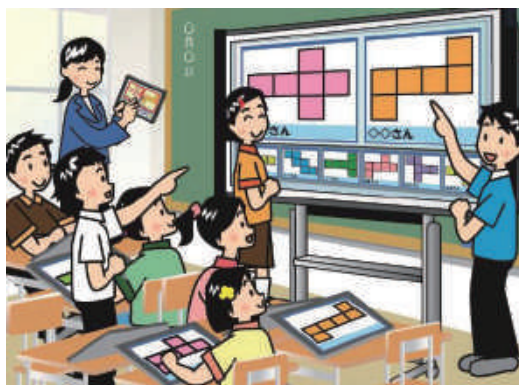


C 1 協働学習

発表や話し合い

イラストに見るICT活用のポイント



- ・自分なりの考えや答えを持ち、端末の画面を電子黒板やプロジェクターを通して提示し、指し示したりしながらクラスに発表します。
- ・個人の端末に自分の考えを書き込んだりして表現し、それをクラスの友達と見せ合いながら話し合います。そこで新しい気づきを得て、自分の考えをさらにより良いもの書き換えたりします。

具体的な授業場面



◆ 電子黒板でプレ発表協議

隣のグループと全体発表前にプレ発表を行います。作り手は何度も見ているので理解が進んでいますが、初めて見る側は分からないこともあります。このプレ発表で伝わりにくい部分をしっかりと洗い出し、修正することで発表の質を高めることができます。



◆ 思考ツールを使って議論をやりやすく

課題に対してマッピングを行ないます。共通の課題でも調べ方や捉え方によって個々のマッピングは異なるので、違う視点で物事を捉える機会になります。マッピングアプリはつながりの線の変更なども容易にできるので、他者の発表を聞いた後で、新しい気づきについてつながりの線を変更したりできます。

活用に向けての教員のセルフチェック

- 自分の考えを文字や図で表すように指導できる。
 - プロジェクターにタブレット端末等を接続して発表させる場面を設定できる。
 - グループ発表に対して、必ず改善点を伝えるように聞き手に指示できる。
 - 批判的な意見を出されても、冷静に改善点として捉えるように発表者に指導できる。
 - 議論したり、修正したりする時間的なゆとりを確保できる。
- ※セルフチェックで☑がつかない項目は、校内での教え合いや自主研修で活用できるようにしましょう。